

大東市立歴史民俗資料館 市民学芸員REPORT

第4号

大東市立歴史民俗資料館
市民学芸員REPORT
2012年
6月16日発行
第4号
大東市立歴史民俗資料館
大東市野崎3-6-1
TEL 072-876-7011

まが好き 人が好き 介護にフリマ 読みに聞かせ 体操クラブ 子育て支援

今号の「私は市民学芸員」は、市内のいろいろな場所での姿を見かける人。お聞きしてみると、このまちと、人とのふれあい大好きがそうさせている、黒川喜和子さんです。

黒川喜和子さん
三箇6丁目在住

— 先日、野崎観音（慈眼寺）のホームペー
ジで黒川さんの姿を
拝見しました。

多分、野崎観音の中興の祖といわれる「江口の君」の縁日（君の市）でのことでしょう。毎月14日に開かれています。手作りのや骨董品などが販売され、私はそこで、手作りのおみやげやあられを出品しています。

— お客さんの層はどう
いった方ですか？

「君の市」のときは、女性が多いですね。お話をしてみると、ほとんどが市外の方ようですが、時々、地元の小中学生が見学で来てくれることがありますよ。そ

わたしは市民学芸員

んなときは地元の民話などの紙芝居をすることもあります。子育て支援センター

の活動でも紙芝居はします。が、子どもたちの反応がわかりやすいし、楽しいですよ。

— 紙芝居はなかなか難しいですね。どこでマスターされたのですか？

大東市の中央図書館は遠かった。「三箇文庫」と称して、自宅の一部を子どもたちに開放していました。



常に自然体でありながら パワフルに各方面で活躍の黒川さん。

そのときから読み聞かせなどはしていました。子どもを対象に介護福祉士の仕事をしていたので、どう語りかけたらいのかは自然に身についたのではないのでしょうか。私の場合心掛けているのは一定の距離感です。もともと子どもと向かい合っていた職場でしたから、あまりべったりしてしまったり仕事の延長のような感覚になっちゃってしまい、ついつい子どもに厳しくなりますし、自分自身にもゆとりがもたなくなっちゃってしまいますから。

— そうですね。わかる気がします。

だからボランティア活動の初めの一步として、同じ福祉系でも高齢者向けの活動から入りました。福祉センターでの健康体操クラブです。始めて二〇年くらいになります。おかげで、ぜんそくや腰痛から解放されました。ずいぶん身体が楽になりましたよ。

次頁の下段につづく

活動三年目に入る 市民学芸員



市民学芸員とは、呼びかけに応募した市民がそのために必要な講座を受け、市民の立場から、大東市をよく知っていただくようと活動する、大東市立歴史民俗資料館の専門スタッフです。

一昨年五月から本格的に始動して三年目を迎えています。その間、特別展「神社探訪・絵馬案内」、企画展「大東の風景」などに関わってきました。

今回の特別展「堂山古墳群のひみつ」では、その資料館のリニューアル準備期間中から堂山古墳群についての研修を受け、四月から来館の皆さん方に、館内の「常設展」「特別展」および「堂山古墳群史跡広場」のご案内をさせて頂いております。

